

1. 9月9日「救急の日」の前後に婦人防火クラブ員救急講習会の実施

全国道府県20カ所が平成15年度（財）救急振興財団の受託事業として、婦人防火クラブ員救急講習会のモデル地区が決定（平成15年6月ネットニュース掲載）されましたが、「救急の日」9月9日の前後に全国8カ所のモデル地区で開催されます。

この救急講習会は、自分たちの街は、自分たちで守ると言うことで、婦人防火クラブ員の方々が家族や地域の人たちの命を守るため、救急車が到着するまでに必要な応急処置、心肺蘇生法・大出血時の止血法についての応急手当を含めた普通救命講習会の研修を、各地区消防本部の救急救命士等から3時間受講し修了証を受領その後、他のクラブ員などに指導したり、有事の場合には家族にも率先して指導をすることを目的に実施されます。

開催されるモデル地域は下記のとおりです。

都道府県名	実施市町	選定地域	受講婦人防火クラブ名 ／代表者名	管轄消防本部名
茨城県	ひたちなか市	津田・沢和・上高場地区	津田2区婦人防火クラブ ／遊佐 美代子会長	ひたちなか市消防本部
山口県	山口市	白石地区	白石婦人防火クラブ ／山口 富美子会長	山口地域消防組合消防本部
愛媛県	新居浜市	高津校区	高津婦人防火クラブ ／白石 秀子会長	新居浜市消防本部
佐賀県	神埼郡神埼町	神埼・西郷・仁比山地区	神埼町婦人防火クラブ ／村山 久子会長	神埼地区消防事務組合消防本部
長崎県	大村市	松原・福重地区	松原・福重婦人防火クラブ ／梶原 昭子会長	県央地域広域市町村圏組合消防本部
熊本県	鹿本郡鹿北町	岩野地区	岩野地区婦人防火クラブ ／入江 チズコ会長	山鹿鹿本広域行政事務組合消防本部
大分県	竹田市	豊岡地区	豊岡地区婦人防火クラブ ／朝倉 笑子会長	竹田広域消防本部
沖縄県	八重山郡与那国町	与那国町	与那国町婦人防火クラブ ／東崎原 美津子会長	与那国町役場

別添参考資料

総務省消防庁が平成15年7月31日付けで「消防・救急に関する世論調査」の概要が公表されました。

この世論調査は、消防庁が作成した調査項目に基づき、内閣府広報室が実施し、「消防・救急」に関する国民の意識を把握し、今後の資料として活用を図ることを目的に実施されたものです。

調査期間は平成15年5月22日～6月1日

調査対象は全国20歳以上の者、3,000人（有効回収数2,113人（回収率70.4%））に実施、その結果の概要から抜粋したものです。

「消防・救急に関する世論調査」結果の概要

調査項目

2 消防・救急の業務について

（1）消防・救急がこれまでに役立ってきたこと（複数回答、上位4項目）

（4）救急車を呼んだ経験

ア 救急車到着までの時間（救急車を呼んだことが「ある」と答えた者（901人）

4 救急について

2 消防・救急の業務について

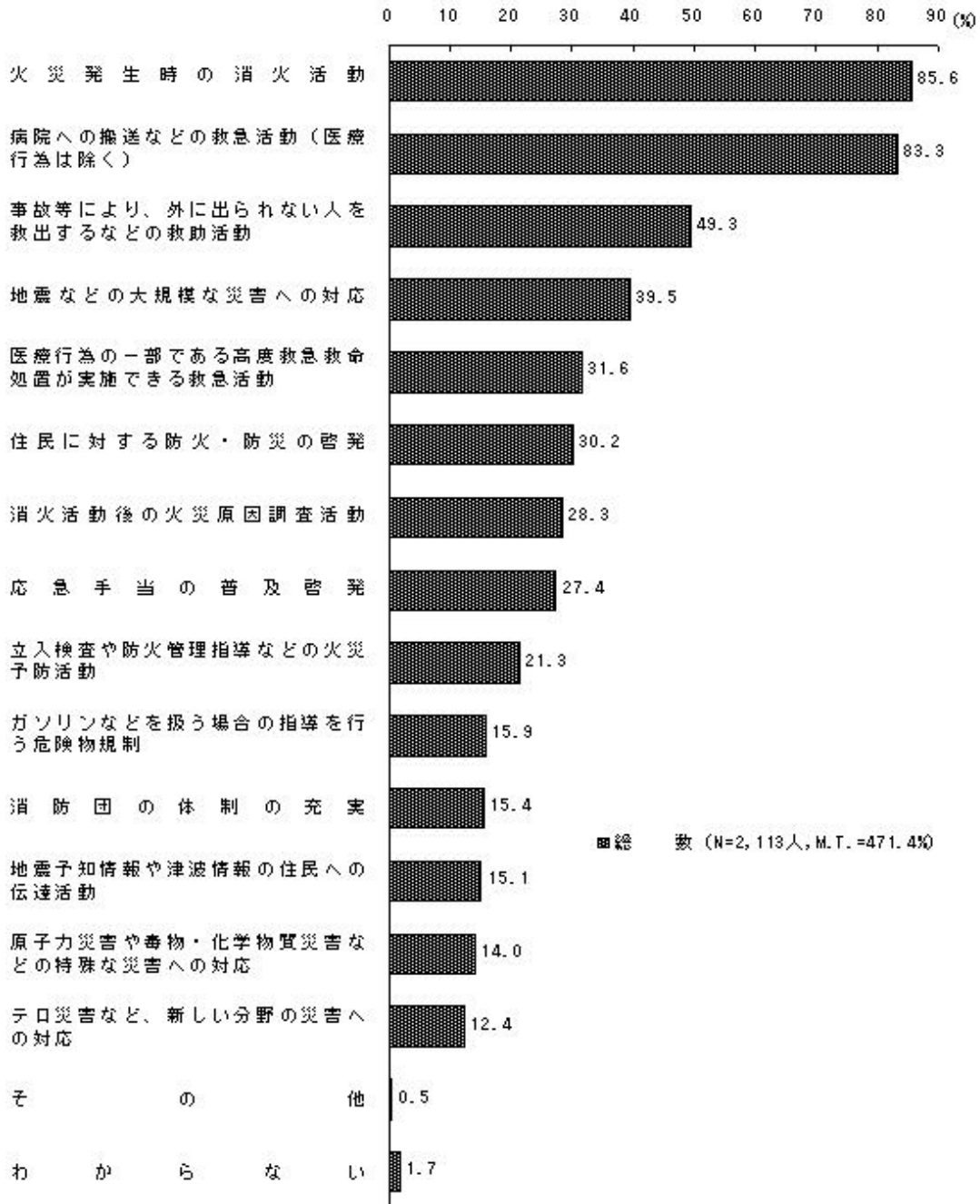
（1）消防・救急がこれまで役立ってきたこと（複数回答、上位4項目）

平成15年5月

・火災発生時の消火活動	85.6%
・病院への搬送などの救急活動（医療行為は除く）	83.3%
・事故等により、外に出られない人を救出するなどの救助活動	49.3%
・地震などの大規模な災害への対応	39.5%

図4 消防・救急がこれまで役立ってきたこと

(複数回答)

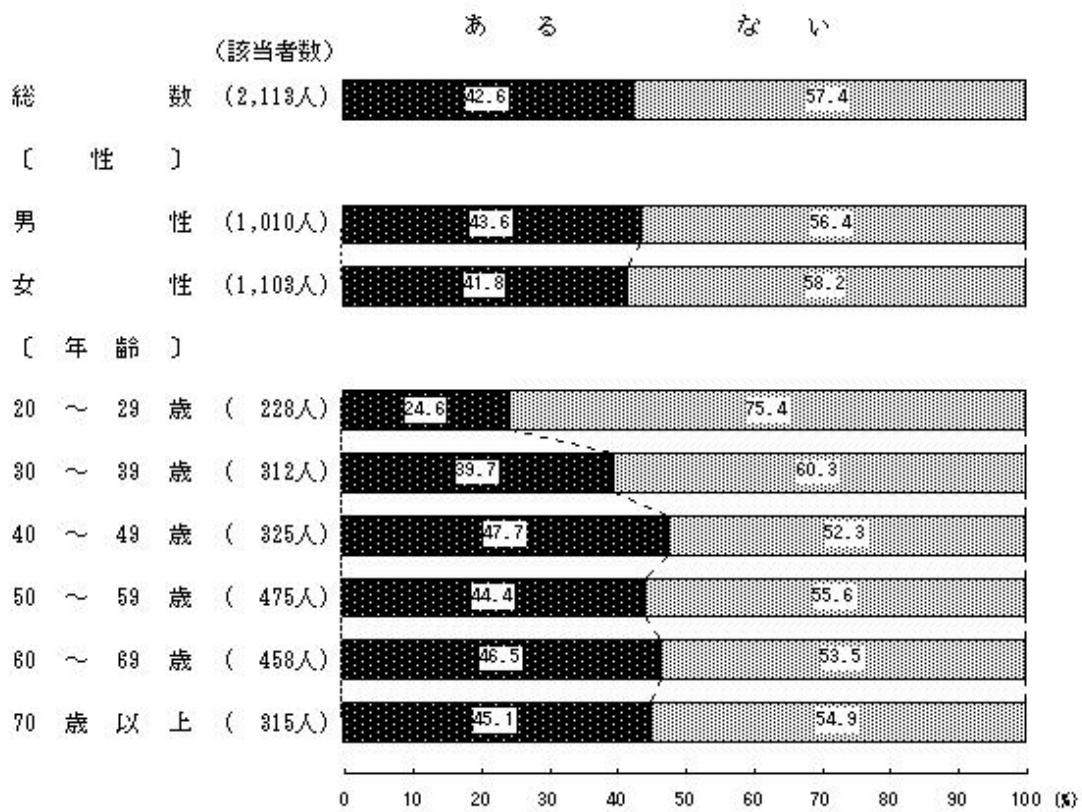


(4) 救急車を呼んだ経験

平成15年5月

ある 42.6%
ない 57.4%

図8 救急車を呼んだ経験

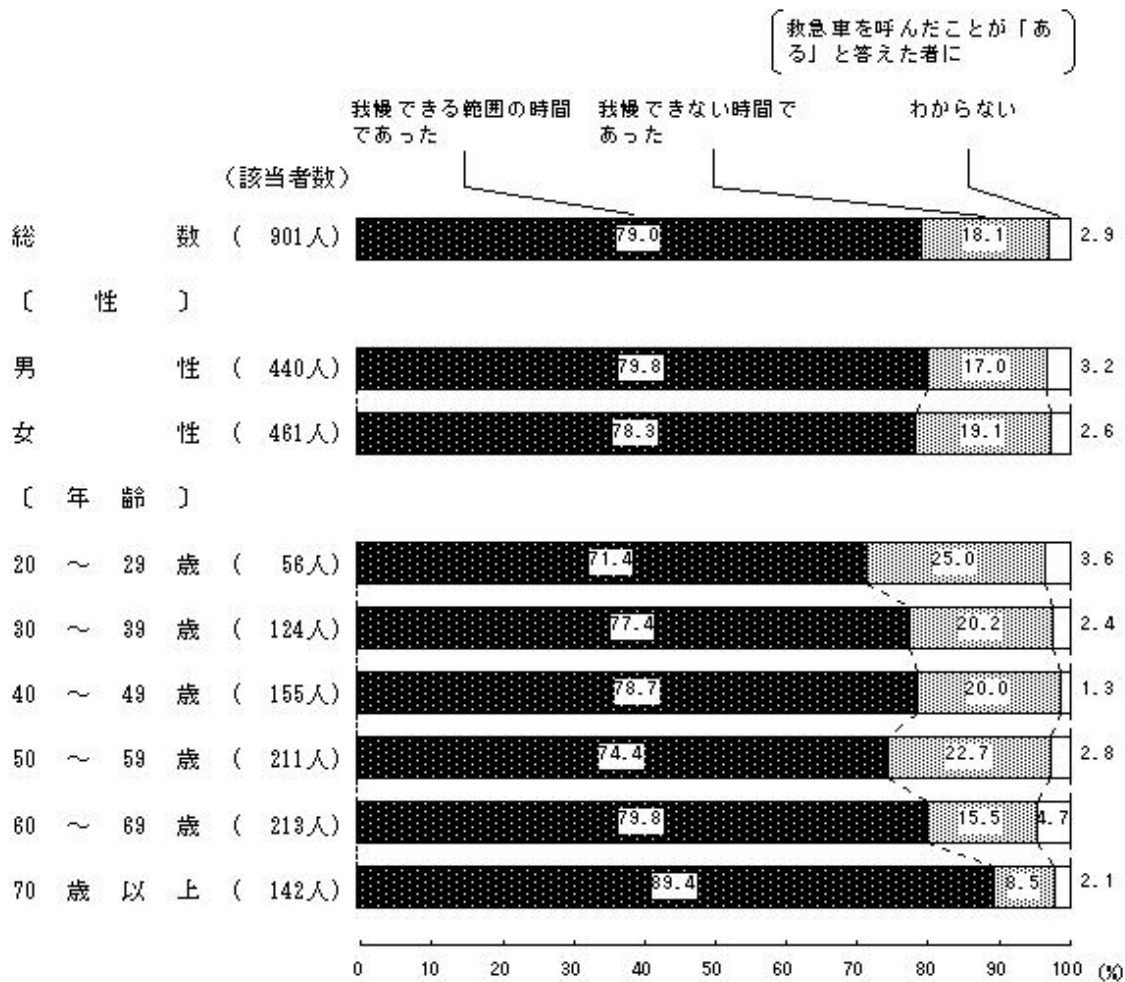


ア 救急車到達までの時間（救急車を呼んだことが「ある」と答えた者(901人)）

平成15年5月

- ・我慢できる範囲の時間であった 79.0%
- ・我慢できない時間であった 18.1%

図9 救急車到達までの時間



4 救急について

<カード1>

平成13年中の1年間で、国民の約30人に1人が救急車によって搬送されたことになっており、高齢化の進展等に伴い、10年前と比べて、救急車の出動件数は1.5倍となっており、今後さらなる増加が見込まれています。一方でこのような救急需要の増加に対応できる救急隊を整備するためには、さらに多くの財政措置をする必要があります。

(1) 「高齢化の進展等に対応するため、出動件数の増加に対応できる救急体制を充実する必要がある」との意見について

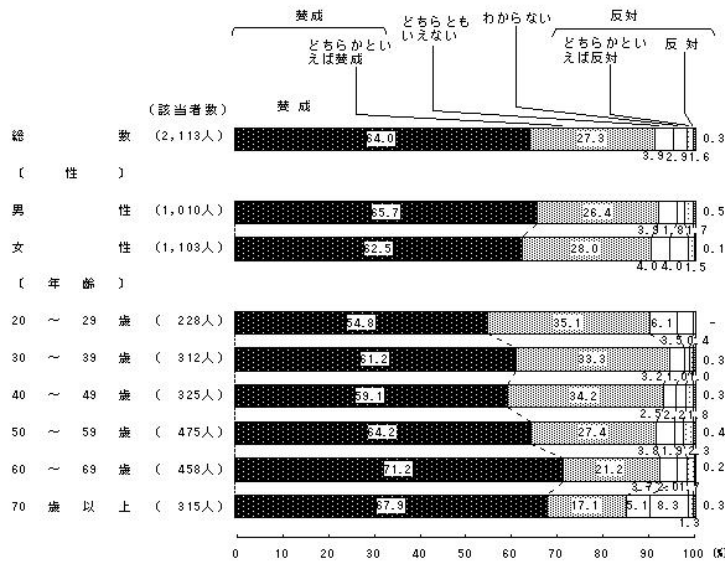
平成15年5月

・賛成	91.3%
賛成	64.0%
どちらかといえば賛成	27.3%
・反対	1.8%
どちらかといえば反対	1.6%

反 対

0.3%

図13 「需要に合わせた整備が必要である」との意見について



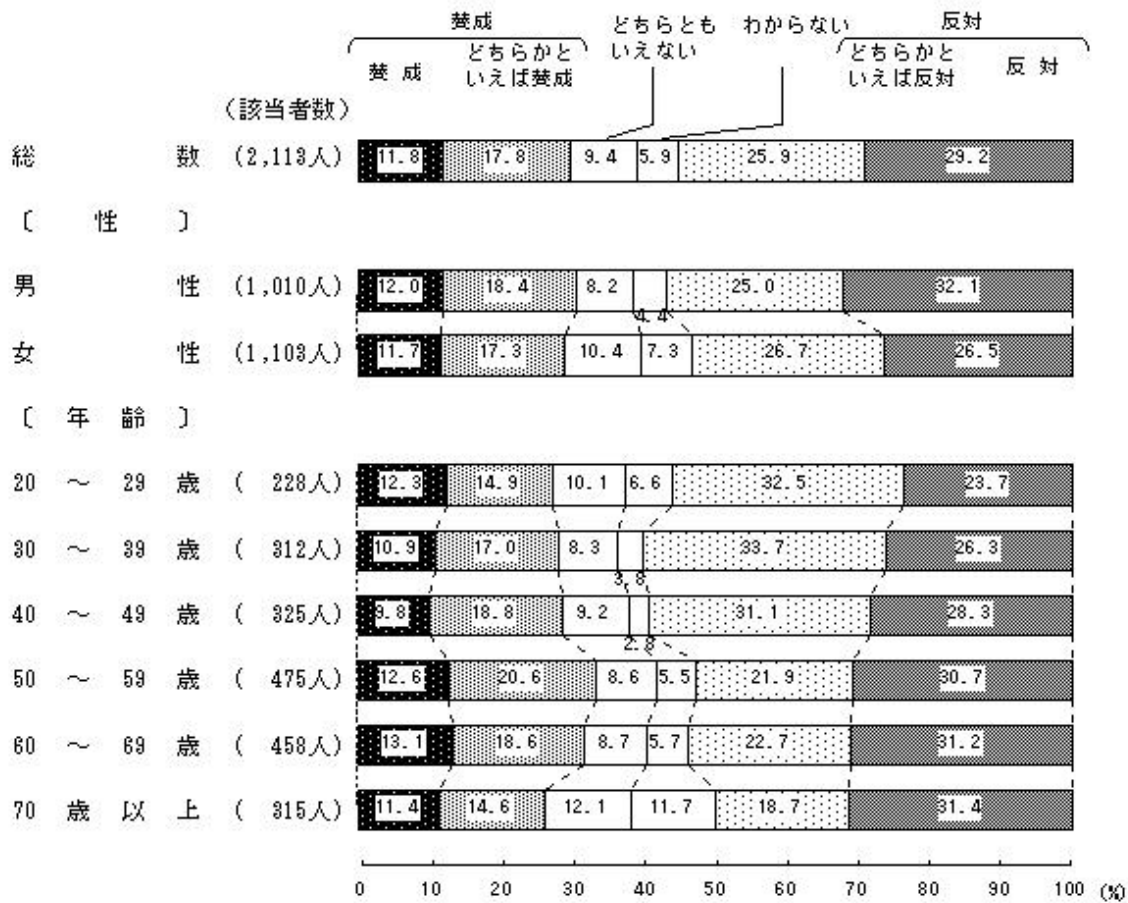
[\(画像をクリックすると拡大表示されます\)](#)

(2) 「救急体制を現状程度で維持するため、救急出動件数を抑制するのむやむをえない」との意見について

平成15年5月

- ・賛成 29.7%
- 賛成 11.8%
- どちらかといえば賛成 17.8%
- ・反対 55.0%
- どちらかといえば反対 25.9%
- 反対 29.2%

図14 「出動件数を抑制する必要がある」との意見について

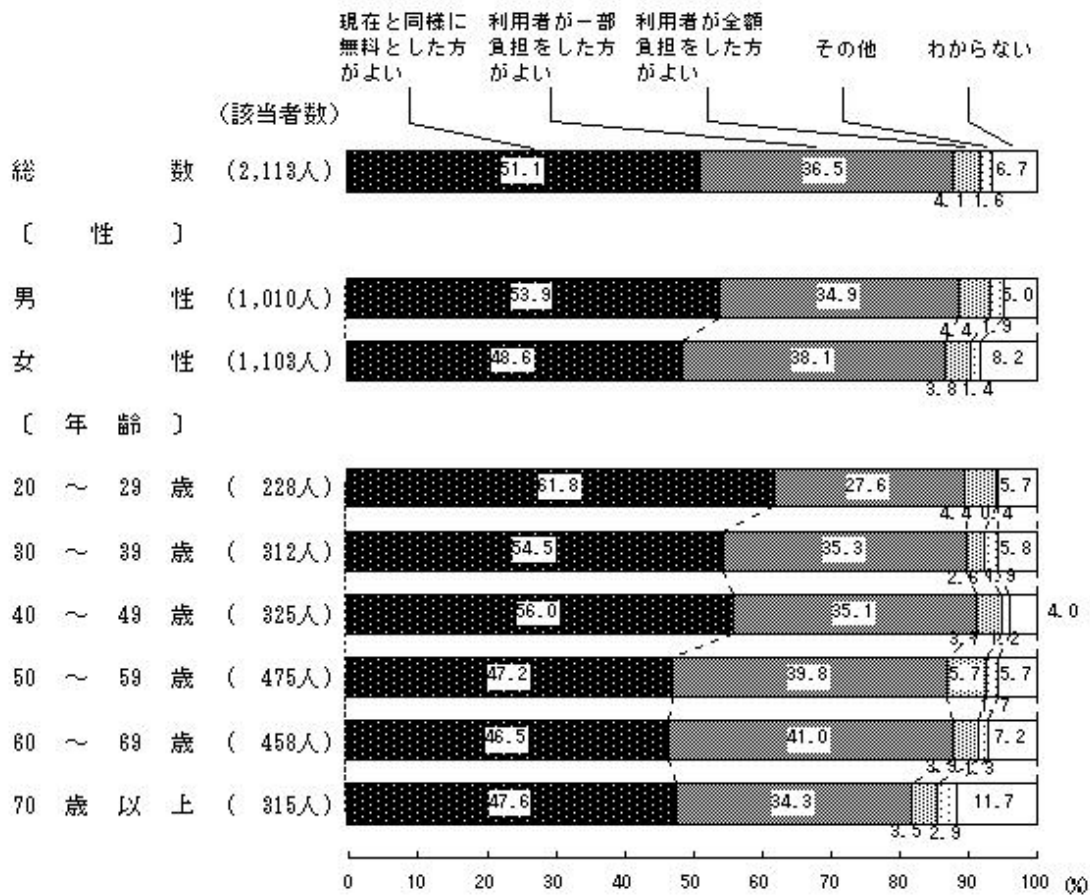


(3) 比較的軽度の傷病者による救急車の利用への搬送費用の負担について

平成15年5月

- ・現在と同様に無料とした方がよい 51.1%
- ・利用者が一部負担をした方がよい 36.5%
- ・利用者が全額負担をした方がよい 4.1%

図15 搬送費用の負担について



[▲ このページの上に戻る](#)

目次

1. 9月9日「救急の日」の前後に婦人防火クラブ員救急講習会の実施
- [2. 「消防・救急に関する世論調査」結果の概要](#)
- [3. 『火の用心は、してきたの?』](#)
- [4. 地方からの便り](#)
- [5. あなたも危険物取扱者・消防設備士に](#)
- [6. 日本防火協会からのお知らせ](#)